



シルバー連合会

ふるまひ

第28号

【平成22年1月発行】



秋月城址（朝倉市）

目次

新年の挨拶（連合会 生田会長）... 1	シニアワークプログラム事業とは... 7
年頭所感（福岡県 麻生知事）..... 2	シルバー事業の新しいかたち
シニア就業支援プログラム事業とは	（社）直方市シルバー人材センター..... 8
..... 3	公益法人会計基準（平成20年4月11日
シニア就業支援プログラム事業の内容	改正）適用について..... 9・10
..... 4	特定公益増進法人に係わる寄付金の募
シニア就業支援プログラム実施事業の	集促進について.....11
紹介..... 5	福岡県における会員数の現状
シニア就業支援プログラム事業の現状	（平成19年度～平成21年度）.....12
..... 6	一言コーナー・編集後記.....13



時代の要請に応えた 魅力あるセンター創りに向けて

社団法人 福岡県シルバー人材センター連合会

会長 生田 征生

新年あけましておめでとございます。

皆様にはご家族お揃いで健やかに新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。

さて、昨年は世界の金融危機が日本にも影響を及ぼし、経済情勢は一気に下降線をたどり民間企業等の雇用調整が遅滞して失業者は増加の一途をたどり、深刻な景気の後退に苦しみました。

シルバー人材センター事業においても、昨今の行財政改革等による地方行政機関の逼迫した財政状況を背景に、シルバー人材センターに対する援助は年毎に厳しく、事業の運営は一層困難な状況となってきたように見受けられます。

そのような中、政府の行政刷新会議の事業仕分けによるシルバー事業への援助事業

費は3分の1削減という厳しい評価結果に接し、シルバー人材センターの将来に一抹の不安を感じ、慌ただしく過ぎた1年ではなかつたかと思えます。

しかし、会員の皆様の就業に対する熱い思いが、このシルバー人材センターを通じた様々な活動となり、働くことが健康を保持し「福祉の受け手から社会の担い手」となることを理念として、また、誰かに必要にされているという意識が地域社会での積極的な活動に繋がり、更には地域の活性化にも寄与してきたと思っております。

近い将来、少子高齢化の進行により4人に1人が高齢者となる状況の中、多様な働き方を提供するシルバー人材センターに対する期待は、ますます大きく、また、制度改革に伴う公益社団法人への移行が望まれ

ているところであり、これらの事をシルバー事業に携わる我々が理解し、一般の方々に判りやすく広報する必要がありますのではないかと考えているところであります。

新しい年を迎え当連合会は、皆様とともに連携を図りながら時代の要請に応えシルバー事業の更なる発展拡充に努め、21世紀の高齢社会にあつて健康で働く意欲のある高齢者が生きがいをもってゆとりある生活ができる環境作りを目指し、新しい時代に即応した魅力あるセンター創りに邁進する所存であります。

本年も当連合会に対し引き続き温かいご支援、ご協力を賜りますとともに、皆様ますますのご活躍、ご健勝を心からご祈念申し上げます。ご挨拶とさせていただきます。



年頭所感

福岡県知事 麻生 渡

あけましておめでとございます。

皆さまには晴れやかに新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。

経済は、一部で持ち直しの動きが見えてまいりましたが、依然として厳しい状況が続いています。福岡県では、中小企業への資金対策をはじめ、農業・福祉分野などへの人材移転や年代に応じたきめ細かな就職支援など雇用確保に向け全力を挙げて取り組んでまいります。

活力に満ちた地域づくりには、県内企業の99%、雇用の75%を担っている中小企業の経営安定と発展が欠かせません。中小企業の金融や経営革新、技術力向上に対する支援、地場産業の育成や商店街の活性化、販路開拓につながるインターネット通販の拡大やデザイン開発による売れる商品づくりの支援など総合的な支援を図ってまいります。

また、福岡県では、自動車や水素エネルギー、先端半導体など先端成長産業の育

成・集積により培われた技術や研究成果を大いに活用し、新製品、新市場、雇用を創出する17のプロジェクト「福岡ニューディール」を進めています。高齢者にやさしい自動車の開発や、水素エネルギーの利用による低炭素社会の構築、ペプチドワクチンによる第四のがん治療法の実現などを通じて地域の成長力を高めてまいります。

少子高齢社会の到来や情報化の進展、人々の価値観の多様化に伴い、NPO・ボランティア、企業も、「新たな公」として、行政とともに公的サービスの提供主体となることが求められています。福岡県では、企業とNPO・ボランティア団体、行政との協働を積極的に推進し、共助社会づくりを目指してまいります。あわせて女性の再就職や母子家庭の就業支援、S O H O や新生活産業の育成を推進し、多様な働き方を選択でき、女性が活躍する共同参画社会づくりを進めます。

少子高齢化が進展する中、少子化の流れに歯止めをかけるため、独身者の出会いを

応援する「新たな出会い応援事業」の推進や「子育て応援宣言企業」3千社、「子育て応援の店」1万店の登録を目指し、結婚・子育て応援社会づくりを進めてまいります。また、高齢者がいつまでも元気で安心して生活を楽しむ健康長寿社会をつくるため、「ねんりん・スポーツ文化祭」の開催やひとり暮らしの高齢者の見守り事業などに取り組みます。

特に、豊かで活力ある地域社会を維持していくためには、高齢者の皆様が長年培われた知識、技能、経験を活用し、就業参加や社会参加などにより積極的に地域と関わりを持っていただくことが必要不可欠です。このような中、高齢者に就業の機会を提供しているシルバー人材センター事業の役割は今後ますます重要となつてまいります。会員の皆様の一層のご活躍を期待いたします。

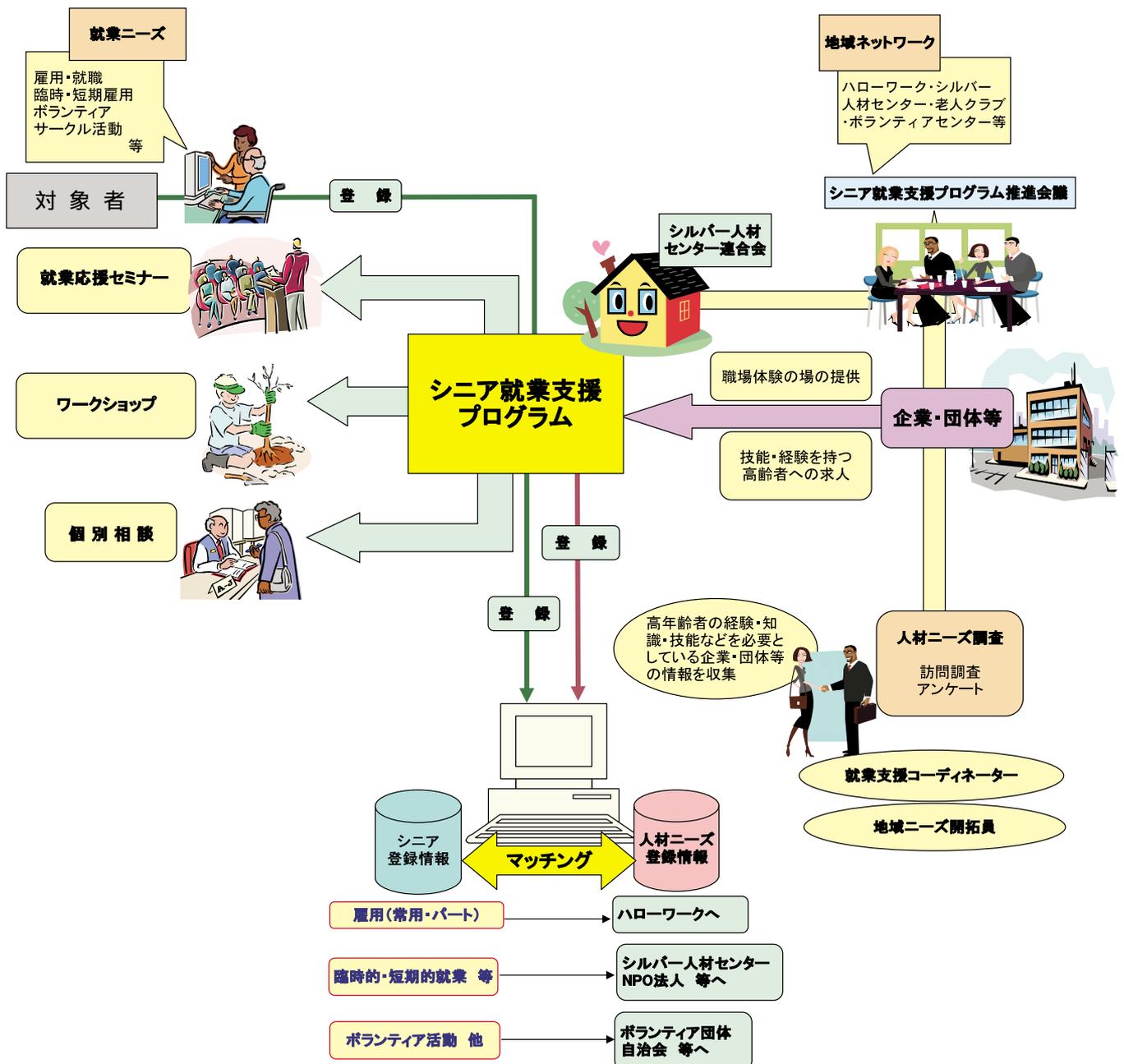
本年が、皆さまにとって素晴らしい一年となりますよう心からお祈りいたします。

厚生労働省委託事業

シニア就業支援プログラム事業とは

近年、高齢者の雇用・就業ニーズは多様化しており、社会参加やボランティア、そして本格的な雇用など様々です。こうしたニーズに対応するためには、地域社会に密着した雇用・就業や、社会参加の場を広く提供することが必要となってきました。

このため、仕事や社会参加でもっと自分を活かしたいと考えておられる高齢者の皆さまと、企業・団体・地域が求める人材をマッチングして、高齢者の方々の雇用・就業・社会参加を支援するものです。



シニア就業支援プログラムの内容

地域ネットワークの構築

地方公共団体をはじめ、地域の企業、NPO・ボランティア団体、ハローワークなど県内の関係組織や団体と連携協力する「地域ネットワーク」を構築します。

このネットワークを活用することにより、高齢者と地域社会ニーズの円滑な需給調整を可能とする就業モデルの確立を図ります。

対象高齢者の登録

対象者は、定年等による退職者及び退職予定者、本格的な職業生活から引退過程、または引退後の55歳以上の方です。

ご希望の方には、履歴・職歴等と併せて就業ニーズを記載して登録していただきます。

なお、登録料は無料です。

就業応援セミナーの開催

当「就業応援セミナー」は、対象となる高齢者に対し、地域における事業の事例紹介や労働市場等の理解を促し、職業能力等の自己分析や希望条件等の明確化を図ることにより、新しい分野での活躍を促すとともに、対象高齢者が自らの地域内での活動に係わる生活就業プランが作成できるよう支援することを目的としています。

登録者の就職・就業や地域社会での活躍の場の拡大に役立つような講座を開催していきます。

本年度は、福岡市・北九州市・飯塚市・柳川市において計7回開催、各地区とも多数の登録会員の方々が参加されました。

ワークショップの実施

地域社会での様々な活動に参加し、活躍の場を拡大したいと希望されている登録者に、地域ネットワークを活用した多彩なワークショップを開催します。

企業での職場体験コース

シルバー人材センター就業体験コース

ボランティア活動コース

サークル活動コース

自治会や老人クラブ等での活動体験

なお、今後の開催予定は下表の通りです。

開催日	会場	講習内容
H 22 .2 25	福岡朝日ビル	還暦に向けて、また還暦後の振り返りとして、これまでに培ってきたキャリアや管理能力を活かして、次の世代、若い世代に伝承する力を発揮できる能力を研鑽する受講者参加型の研修です。 「還活」(還暦を意識した活動)をテーマにしたワークショップです。
H 22 .3 .2	福岡朝日ビル	

個別相談・適性検査実施

登録者が、自らの活動にかかわる生活就業プランを策定をするとき、それを支援するため本人の希望により、個別相談や適性検査を実施いたします。

マッチングの実施

就職・就業を希望されている登録者の就業ニーズと、高齢者の経験・知識・技能を求めている地域の企業や団体などの人材ニーズを照合し、適合した情報を提供します。

実施事業の紹介

就業応援セミナー

セミナーの内容

- 1、キャリア発達とは？：生涯を通じたキャリア・サイクルと移行期
- 2、中高年齢期のキャリア危機：生理的变化、役割変化、人間関係の変化
- 3、キャリア適応力をつけよう：変化を受け入れ対応する能力を身につけよう
- 4、ワークライフバランス：仕事と私生活の釣り合いを考える
- 5、新たな人間関係：多様な背景を持つ人たちとの付き合い方



講師の紹介

吉原 克枝 講師

インターナル・マーケティング LLC 代表
 産業・組織心理学研究者
 九州大学 / 筑紫女学園大学 / 精華女子短期大学
 非常勤講師
 横浜国立大学卒業後 岩田屋入社
 人事部教育担当を経て 退職後は 九州大学
 大学院人間環境学府にて 修士号取得



セミナーのねらい

定年後も元気に働きたいと考えるシニアがますます増えています。

しかし、定年退職後にもう一度新たな働き方を模索する時期は、様々な「心理的危機」が潜んでおり、かつ「大きなストレス」がかかる時期でもあります。

本セミナーでは、中高年齢者が自身のキャリア発達の特徴を知り、環境の大きな変化へ対応していくためのコツをお教えします。

その上で、自分自身のこれからの働き方、社会との関わり方、家族との付き合い方など、様々な視点から自分の人生を見つめ直す機会を提供し、シニア期のアイデンティティの再構築をサポートしていくというものです。



セミナー受講者の声

- ・今回の話は、これからの人生にとっても役立つと思う。また、同様の企画をお願いします。
- ・ちょうどボランティアをしてみたいと考えていました。自分を振り返ってみたいと思います。
- ・期待以上のセミナーでした。今までの自分とこれからの自分の区分けが必要だと気づかされました。
- ・退職（定年退職）して、半年強の時間が過ぎてしまっています。もう少し早い機会にセミナーを受けておけば良かったかなと思います。
- ・普段おぼろげながら感じていることを、整理していくことができるようになり大変参考になりました。
- ・自分の生き方を確認できるセミナー、自分中心では生きていけないということが分かるようなセミナーを期待します。高齢者になるとだんだん視野が狭くなるので……

ワークショップ



みんな
頑張って
チャレンジ
してみよう！



時間	講習内容	
10:00~11:00	シルバー人材センターとは	座学
11:00~12:00	安全作業のために	座学・実習
13:00~16:00	樹木の管理と剪定	実習



11月27日(金) 久留米市田主丸の『福岡県緑化センター』にて第1回目のワークショップが開催されました。

今回のテーマは「樹木・緑地管理」についての講習でした。

緑地の樹木や花木などを維持管理する上での必要な知識や道具の使い方などに係わる初歩的な知識・技能を実体験により習得していただくものです。

17名の会員が参加、9:00~16:00まで座学・実習ともに全員熱心に受講されていました。

シニア就業支援プログラム事業の現状



平成21年度の新規事業としてスタートした「シニア就業支援プログラム事業」ですが、12月末現在で下表のような状況になっています。今後とも、皆さまのご支援・ご協力をよろしくお願い申し上げます。

地域	登録参加会員数	マッチング件数	セミナー開催	ワークショップ開催
福岡	243名	29件	2回(52名参加)	
北九州	187名	30件	1回(19名参加)	
筑豊	363名	52件	1回(39名参加)	
筑後	244名	67件	1回(34名参加)	1回(17名参加)
合計	1,037名	178件	5回(144名参加)	1回(17名参加)

シニアワークプログラム事業とは

60歳台前半層の就職希望者を対象とした技能講習、合同面接会等を行う事業です。

この事業は、社団法人福岡県シルバー人材センターが厚生労働省から委託を受け実施しています。

受講対象者

福岡県内に在住、60歳台前半層、雇用・就業を希望される方

過去1年間に当連合会主催の各種講習を受講していない方

申込者多数の場合申込書審査のうえ抽選により受講者の決定をおこないます。

就業中、趣味・教養としての受講はご遠慮ください。

受講申込方法

受講申込書を郵送ください。 技能講習受講申込書の請求は

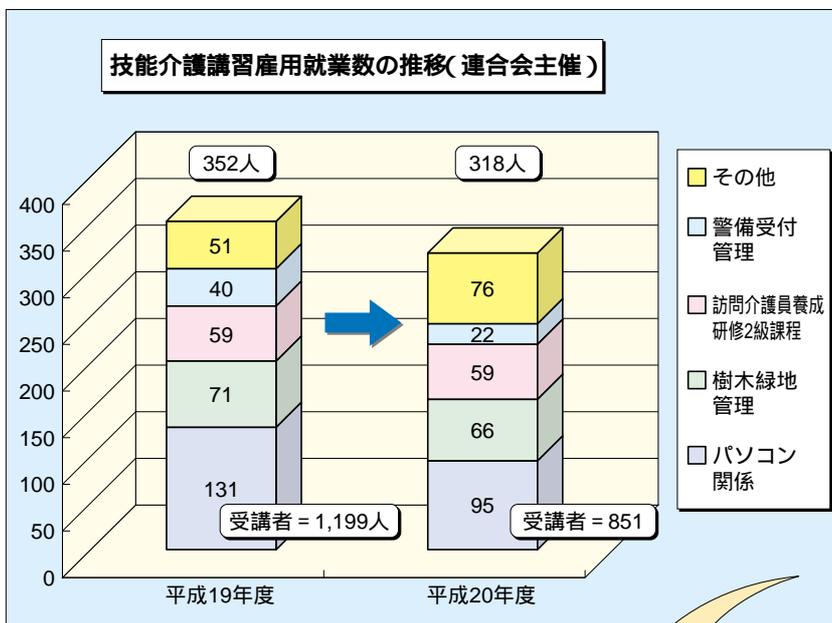
公共職業安定所（ハローワーク）、シルバー人材センター、連合会ホームページから

連合会ホームページからインターネット上で直接申し込みもできます。

受講経費

受講料は無料です。

訪問介護員養成研修2級課程（ホームヘルパー）実習のための健康診断料は自己負担になります。



シニアワークプログラム 技能・介護講習状況



建築 CAD 講習



樹木・緑地管理講習

行財政改革の中、事業経費が大幅に削減となりました。
(対前年比 平成19年度 94.3%、平成20年度 47.1%)

受講者の意見・要望では、長期雇用に活用できる資格の取得が多く、このため講習の見直しや新科目の設定などを行い、雇用・就業支援に努めています。

シルバー事業の新しいかたち

〜(社)直方市シルバー人材センターの取り組み〜

平成21年8月2日(日)、直方市シルバー人材センターが自然薯(山いも)料理とうどんのお店「殿町とろろ」をオープンしました。当センターでは、焼き芋や弁当販売、託児施設「おひさま」の開設など、様々な事業に取り組んでいます。

直方市シルバー人材センターでは、平成19年から直方五日市での弁当販売を行ってきました。また、市内での各種イベント開催にも「いきなり

団子」や「たこ焼き」などの食品提供および販売を行っており、秋から冬にかけて事務所前で販売している「焼き芋」は、市外から車で買いに来る人もいるほどの好評ぶりです。

このような食品販売のノウハウと、シルバー人材センターならではの様々な知識と経験を持つ会員が畑で野菜を作ることにより、地元で栽培された野菜を使った料理店を開こうと、平成20年10月から準備を進めてきました。以前食堂だった商店街近くの店舗を借り受け、大工の経験を持つ会員による改装工事をはじめ、調理経験を持つ女性会員を中心に、うどんだしやメニューの開発のために各地の料理店への視察や試食を重ね、オープンの運びとなりました。また、『殿町とろろ』のメイン素材となる自然薯は栽培に試行錯誤を重ね、苗の植え付けから育成管理、収穫、保存もセンターの会員の手で行っています。



新聞やテレビ番組などで紹介されたこともあって、連日大盛況の賑わいで県下各地からの来客があり、自然薯料理やうどんの味を楽しん



でおられるようです。なかでも人気の高いメニューは、山いものとろろをメインに、ミニうどんや天ぷら、小鉢の付いた「殿町とろろ御膳」です。

飲食関連の事業のほかにも、当センターでは託児施設「おひさま」を運営しています。おひさまは、商店街入口に面した2階にあり、市民の方々が利用しやすいように平日のみならず、土日祝日も託児を受け付けています。基本的には午前9時から午後5時までですが、お客様の要望により時間は変更できるようにしています。また、保育士などの資格を持つ子育てのベテラン会員が就業し、おばあちゃん(?)のような対応がよろこばれています。

こうした事業は、庭木の剪定や草刈りなどの、お客様からご依頼をいただく従来の受託事業とは異なり、シルバー人材センター側から売り込んでいく独自事業です。もちろん綿密な計画や予算を立て、予算の範囲内で行っていく事業ですが、会員の方々のアイデアや思いが形となって生み出されていくものです。シルバー人材センターは、こうした新しいかたちを創り出していく、新たな時代に入ったのではないのでしょうか。

このほかにも、直方市シルバー人材センターでは、広く会員の意見やアイデアを取り入れて実施する企画提案方式事業にも着手しています。重点分野のうち、介護、子育て、教育の3分野に取り組み、教育分野では、会員が講師となって地域の子どもたちや保護者を対象に、かぶと虫の幼虫を成虫にするまでの生育過程を学ぶ教室を開催しています。



こうした活動も、シルバー人材センターの新しい活動のかたちとして注目されます。



公益法人会計基準（平成20年4月11日改正）適用等について

1 公益法人会計基準の改正及び適用について

シルバー人材センター（以下「センター」という。）は公益法人会計基準に基づき会計処理を行っており、現行では平成16年10月14日「公益法人等の指導監督等に関する関係省庁連絡会議申合せ」として公表された公益法人会計基準（以下「平成16年基準」という。）を平成18年度から適用しています。

平成18年6月2日に公益法人制度改革関連三法（法人法・認定法・整備法）が公布され、法令との整合性から、平成20年4月11日「内閣府公益認定等委員会」より公益法人会計基準の改正（以下「平成20年基準」という。）が公表されました。平成20年基準は、平成20年12月1日以後開始する事業年度から実施することになっていますが、適用する際の経過措置があり、特例民法法人（移行期間中の公益法人）が移行認定・認可の申請をする場合には、平成20年12月1日以後開始する最初の事業年度（平成21年度）に係る財務諸表は、前述の実施時期にかかわらず、平成16年基準を適用して作成できることになっていきますので、平成21年度決算書類は従来どおりの財務諸表及び収支計算書を作成します。

現在、福岡県連合会及び県内のセンターが行っている事業については、認定法に定められている公益目的事業に該当する考えで公益社団法人への移行準備を進める申請法人として、今後、公益認定の申請書類を作成するうえでも財政基盤の明確化と事務の効率化を図るため、各法人の財務（会計処理）規程の一部改正を行い、平成22年度から平成20年基準を適用し、会計処理を行うことにしています。

2 公益法人会計基準の改正点について

根 拠	旧制度	新制度	備 考
	平成16年改正	平成20年改正	
会計基準	財務諸表 ・貸借対照表 ・正味財産増減計算書 ・財産目録 (・キャッシュ・フロー計算書)	財務諸表 ・貸借対照表 ・正味財産増減計算書 ・附属明細書 ・財産目録	事業別に経理区分 (公益目的事業・法人会計等) 預金：事業別口座 特定資産・固定資産： 使用割合事業別区分
内部管理事項	・収支予算書 ・収支計算書	-	移行前まで 内部管理事項適用
公益法人認定法	-	損益計算ベースの ・収支予算書 (・収支計算書)	公益認定法 施行規則 第27条及び第30条

3 平成20年基準の財務諸表について

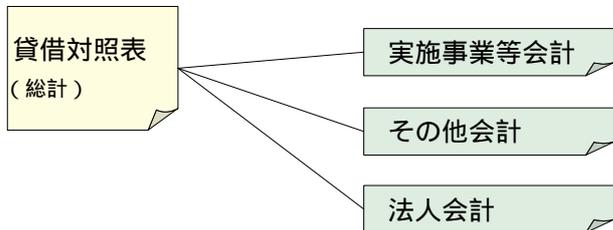
公益法人会計の目的は、法人の決算日における財政状態と一定期間（事業年度）における運営状況（経営成績・効率性・採算性）等に関する会計情報を利害関係者に報告するためであり、情報開示は財務諸表を作成して報告することになります。

平成20年基準の財務諸表については、公益法人のディスクロージャー（財務諸表の透明化）をより充実させるため、法人全体の財務諸表を基本とし、事業別区分会計ごとの情報を財務諸表の一部として内訳表を作成することになっています。福岡県連合会及び県内のセンターは公益認定の申請を行う法人（申請法人）として認定を受けるまでの間、事業別区分会計を実施事業等会計・その他会計・法人会計の3区分に分け、財務諸表を作成することになります。

4 事業別区分会計

貸借対照表 事業別区分会計で管理することになります。

事業別区分会計：貸借対照表内訳表作成



貸借対照表

要素	要素の区分
資産	流動資産
	固定資産
	特定資産 その他の固定資産
負債	流動負債
	固定負債
正味財産	一般正味財産
	指定正味財産

5 財務諸表・様式について

(1) 貸借対照表 (平成 年 月 日現在) 決算日

① 当年度・前年度対比の貸借対照表表示項目

(平成20年基準運用指針：様式1-1)

(単位：円)

科目	当年度	前年度	増減
----	-----	-----	----

② 申請法人の貸借対照表内訳表

(平成20年基準運用指針：様式1-4)

(単位：円)

科目	実施事業等会計	その他会計	法人会計	内部取消消去	合計
----	---------	-------	------	--------	----

(2) 正味財産増減計算書 (平成 年 月 日から平成 年 月 日まで) 事業年度

① 当年度・前年度対比の正味財産増減計算書表示項目

(平成20年基準運用指針：様式2-1)

(単位：円)

科目	当年度	前年度	増減
----	-----	-----	----

② 申請法人の正味財産増減計算書内訳表

(平成20年基準運用指針：様式2-3)

(単位：円)

科目	実施事業等会計				その他会計				法人会計	内部取消消去	合計
	A事業	B事業	共通	小計	a事業	b事業	共通	小計			

6 損益ベースの収支予算書作成

現行の収支計算 (資金会計) ではなく、当期正味財産の増減を表す損益計算となります。

(1) 収支予算書 (平成 年 月 日から平成 年 月 日まで) 事業年度

① 当年度・前年度対比の収支予算書表示項目

(単位：円)

科目	予算額	前年度予算額	増減
----	-----	--------	----

② 申請法人の収支予算書内訳表 (例示)

(単位：円)

科目	実施事業等会計								その他会計				法人会計	内部取引消去	合計
	シルバー人材センター事業				シニアワークプログラム地域事業	シニア就業支援プログラム事業	共通	小計	a事業	b事業	共通	小計			
就業機会提供事業	就業機会確保事業	企画提案方式事業	計												

(2) 収支予算書勘定科目

「収入」「支出」ではなく、正味財産増減計算書「収益」「費用」の科目設定となります。

(3) 現行収支予算書との相違点

① 当期の損益計算を行いますので前期繰越収支差額の計上がなくなります。

② 損益ベースの収支予算となりますので予備費は計上せず、必要に応じて予算の補正を行うこととなります。

③ 当期経常収益・費用及び当期経常外収益・費用のみ予算計上することから、特定資産や固定資産等の財産運用は収支予算書に計上されず、収支予算書の注記で「投資活動及び財務活動に関する見込」を計上します。

特定公益増進法人に係わる寄附金の募集促進について

厳寒の候 皆様にはますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

平素から当連合会の事業運営について、格別のご理解、ご協力を賜り感謝いたしております。

さて、標記のことについては、平成19年度からの事業活性化計画において、積極的なお取組みをいただいているところですが、今年度、特定公益増進法人の寄附金について全国的に1認定法人につき最低でも100万円以上の寄附金がなければ特定公益増進法人として認可することが難しいとの見解が示されました。

ところが、平成21年12月末日現在の寄附の状況を見ますと目標額の二分の一に達したところであります。

当連合会は、シルバー人材センター事業の公益性・公共性が高く評価され、平成9年度認定を受けてから2年ごとに再認定を受けてきましたが、公益法人制度改革と合わせて財務省としては寄附金実績が100万円に達しない場合は、認定を取り消すか再認定しない方針であるとの連絡が当連合会にありました。

寄附金実績が上がらないことを理由に認定が取り消されたり、再認定されないこととなれば財政当局のシルバー事業に対する印象も悪くなり、公益性を標榜するシルバー人材センター事業の推進に少なからず影響を与えるのではないかと危惧されるところであります。

景気は停滞状況にあり、未だ回復の兆しを実感するには至らず地方においては更に厳しい状況のもと、寄附金を民間企業等にお願いすることは極めて困難を伴うこととは存じますが、特定公益増進法人認定の趣旨を広く地域社会に広報、周知いただき、より多くの寄附の賛同を得て、各センターの運営資金確保の一方策として、特段のご配慮をお願いする次第であります。

何卒、この趣旨をご理解いただき、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

社団法人 福岡県シルバー人材センター連合会
会 長 生 田 征 生

福岡県における会員数の現状（平成19年度～平成21年度）

平成18年度に定められた国の新雇用戦略において2010年度までに全国の会員を100万人と示され、福岡県においては**38,000人**と目標を設定しております。

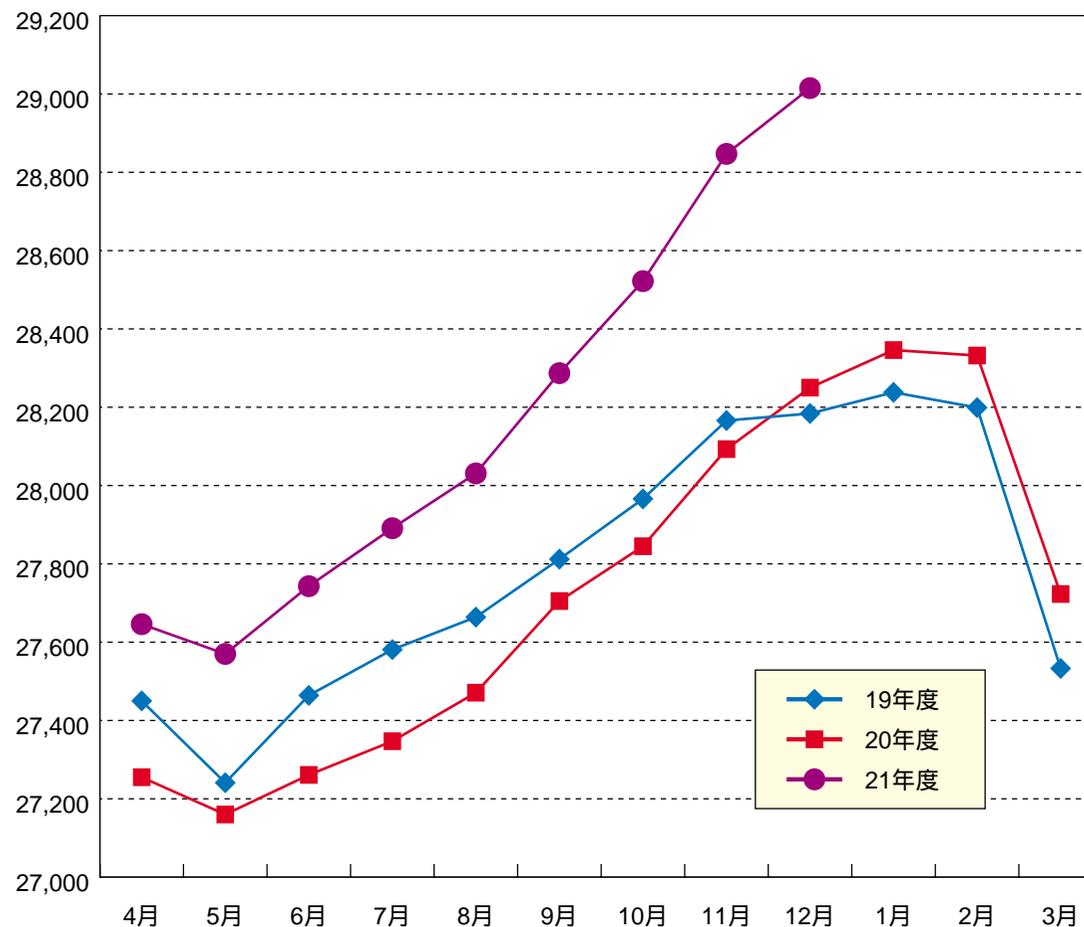
過去3年間の加入会員の推移は、下表のとおりであり、本年度は12月末現在対前年比**約770名**増加し格段の結果を得ておりますが、各シルバー人材センターにおいては新規会員、特に女性会員の獲得に向かって更なる努力が求められます。

月別会員状況

月	19年度	20年度	21年度
4月	27,450	27,255	27,646
5月	27,241	27,160	27,570
6月	27,464	27,261	27,743
7月	27,581	27,347	27,891
8月	27,664	27,471	28,031
9月	27,812	27,705	28,287
10月	27,966	27,845	28,522
11月	28,166	28,093	28,847
12月	28,184	28,250	29,015
1月	28,238	28,346	
2月	28,199	28,332	
3月	27,533	27,723	

朱書は各年度最高値

男女別会員数（12月末現在）（男性 19,383人）（女性 9,632人）





一言 コーナー

愛知県知多半島といえば、中部国際空港(セントレア)が開設されたことで知られるようになったが、あるテレビ番組でこの半島一帯は江戸時代から築かれてきた「醸造文化圏」であることを知った。

味噌、醤油、酢、酒など酵母を使った醸造業が江戸時代から栄え、海運業に適した地理的条件にも恵まれ販路が拡大してこれら醸造業は発展したという。

番組の中で、江戸時代末期から続いている味噌製造業の老舗が紹介された。

時代を感じさせる古い建物の中に創業当時から使用している大きな味噌樽が並び、原料の仕込みから製品の仕上がりまでの醸成過程において人的加工は一切排除し、季節の変化を活かした天然醸成に委ねているので完成まで3～4年要しているという。

この老舗の主人が「この土地が醸造業に適していることに気付いて繁栄させた『先祖』に感謝しています」としみじみ述懐した姿に感銘し、その言葉の中に、時の流れに刻み込まれた先祖の智恵と汗が感じられ、それは次の世代へと引き継がれていくであろうと確信した。

企業・団体にある者は、先達の労苦に感謝し、先達から享受したものは健全な状態で次の世代に伝えていくことを心しなくてはならない。

シルバー人材センター事業は、経営基盤の再構築が問われており、この事態を乗り越えるため将来を見通した眼力とアイデアと行動が求められているが、問題山積しその道のりは険しい。しかし、現在の厳しい環境は後世の人達から感謝されるに値する「時代」でもあると思われる。

編集後記



明けましておめでとございます。

今年もよろしくお願いいたします。

昨年夏の衆議院議員総選挙の結果、民主党を主体とする3党連立内閣が発足して4か月余りが経過しました。

その間、政策について転換するものや新たなものが出てきましたが、特に、行政刷新会議の事業仕分けは、その状況がテレビ放映されたこともあって国民の関心呼び耳目を集めました。

その中で、シルバー人材センター事業は、本紙の中で申し上げていますように、援助事業費は3分の1削減という厳しい評価結果を受けました。この対応についてシルバー事業関係者の総力を結集することが必要ですが、かつて経験したことがない困難が予測され、これに耐える覚悟を持続させなければならぬと思われれます。

機関誌第28号をお届けいたします。

平成21年度新規事業のシニア就業支援プログラム事業を中心に作成しました。

この事業について、当連合会はシニア就業支援コーディネーター及びSSPニーズ開拓員を配置して事業を実施しているところであります。更に、事業の推進を図るため各シルバー人材センターのご協力をお願いいたします。

福岡県シルバー人材センター連合会

〒812 0046 福岡市博多区吉塚本町9番15号
福岡県中小企業振興センタービル8階
TEL092 623 5656 FAX092 623 5677
(URL) <http://www.fscr.or.jp>



この印刷物は、揮発性有機化合物を含まないノンVOC植物性インキを使用しています。